

## 第170回: 習奥会晤

6月7日より2日間にわたって開かれた米中両国の首脳会談を中国語で表現するとうなる。中国語を知らずとも、何となく理解できるだろう。【美国総統(アメリカ大統領)・オバマ(オバマ)と中国国家主席・習近平が、美国加州(カリフォルニア州)の高級渡假勝地(リゾート地)・陽光庄園(サニーランズ)で米中首脳会晤(会談)を開いた】。人民日報は今回のオバマ・習近平会談を「習奥会晤」と略している。

ゴルフ・リゾートとして知られるこの地は、ロサンゼルスから東に200キロ近く入り込んだ内陸砂漠地帯にあり、決して沿岸部ではないが、首脳会議の冒頭習近平は強引に「この地は太平洋の近くで、海の向こうは中国だ。浩蕩たる太平洋には中国と米国の二大国を受け入れるのに十分な空間がある」と理屈をならべ、あたかも太平洋を両国で山分けしようとする云々ばかりの意気軒昂ぶりだった。おお！習近平が團十郎ばりの大見栄を切ったかと思いつつ、なぜか昔観た「風とライオン」という映画を思い出した。映画の舞台は、モロッコのタンジール、ここでキャンディス・バーゲン演じる米国人女性が民族自立を目指すアラブの部族によって誘拐される事件が発生し、誘拐事件に接した米セオドア・ルーズベルト大統領は強いリーダーシップを内外にアピールするため、モロッコに艦隊を派遣し海兵隊によって救出を図ると言う筋書きである。映画に登場する海は太平洋ではなく大西洋であり、海を挟み米国と対決するアラブの族長をショーン・コネリー、米大統領をブライアン・キースが演じていた。映画ではショーン・コネリーの方に存在感があったが、かたや族長、かたやアメリカ大統領と云う設定である。習近平さんはこの映画を観たのかな。

とまれ、7日より2日間にわたって開かれた首脳会談は、夕食を含め会談時間は8時間を超えて長時間に及んだ。中国官製メディアは首脳会談が大成功に終わったと喧伝しているが、会議好きにろくな奴はいないと云うとおり会議は長けりや偉いと云うものではない。米中間には時間をかけて詰める必要のあるサイバー攻撃に海上安保、北朝鮮の核武装といった複雑な問題が錯綜している。今回の会談でオバマと習近平は共にネクタイは外しても、ダーク・ジャケットを着用して会談に臨んでおり、とてもじゃないが友誼と親善に終始云々の雰囲気ではなかった。おまけに錦上添花を添える予定であったファーストレディ会談が、ミッシェル夫人が直前になって加州行きを取り消したことにより実現せず、この辺に今次会談の雰囲気がよく現われていた。米中会談で画竜点睛を欠き、中国人をいちばんがっかりさせたのが、中国の国民的大歌手でもある彭麗媛夫人とミッシェル夫人のファーストレディ競演がドタキャンになったことだ。報道によるとミッシェル夫人は15歳と12歳の娘の学期末の関係で、ワシントンを離れることを断念したと云うが、だれがそんな理由を真に受けるかね。とは云え、外交プロトコルとして相手を傷つけない配慮は必要だ。「愛犬のボーが腹をこわしたから」、「娘の宿題を手伝うから」、ホワイトハウスを離れられませんとは云えないだろう。

尖閣諸島は7日の夕食会の話題となり、オバマ大統領が「係争をエスカレートさせるべきではない。軍事的行動ではなく、外交的なチャンネルを通じた対話で解決すべきだ」と強調したという。米国は尖閣諸島における日本の施政権(administration)は認めようとして、現状変更には強く反対するというスタンスを変えず、領有権(sovereignty)については言及しないと云う従来からの見解に終始したようで、日本にとっては満点の回答ではないが、政治的には玉虫色の見解でもそれはそれで良いのである。米軍のアジア戦略における

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

最重要基地は沖縄であり、中国を睨む要衝の地であり沖縄から極めて近い尖閣諸島が日本によって実効支配されている軍事的意義は大きい。日本から見て尖閣諸島は固有の領土でかつ実効支配地、一方米国にとっては日米安保条約の適用地、それで良いのである。アメリカが尖閣の領有権について一歩踏み込んだコミットメントを行うか否かは、米国の政治判断であり、今後の中国の出方による。

と云ったわけで、米中首脳会談は予想通りの結末に終わったが、一つだけ有益な新情報があった。今回のオバマ・習近平対談は参加人数を絞って行われ、首脳会談で習近平を補佐したのは、王滬寧政治局委員(党中央政策研究室主任)、栗戦書政治局委員(党中央弁公室主任)、楊潔篪中央委員(國務委員)の3名であった。楊潔篪は前外相で副首相級の外交専門家であり、首脳会談への参加は当然だが、所詮は実務家にすぎない。筆者が知りたいのは中国外交において習近平を輔佐するNo2の政治局委員は誰かであり、王滬寧・栗戦書の登場は極めて示唆的であった。この二人、国営メディアは筆画順で王滬寧、栗戦書の順で報道しているが、両者間の序列を明かしたくなかった中国は、オバマとの首脳会談で序列を変えた写真を二通り配信している。中国共産黨らしい配慮と云うか細工として笑える。

中国の外交政策は政治局直属の「中央外事工作領導小組」と呼ばれるコミッティーによって運営されており、習近平時代に入り新メンバーは既に決まっているはずだが、未だ公表されていない。昨年までは胡錦濤が組長、習近平が副組長、以下劉雲山を始めとする組員を加え、合計16名で構成されてきた。この構成員たちは外事、通商、諜報、軍事、公安等の利益代表者であり、ヒラ組員は外相、国防相、公安相、商務相たちの名前をあてはめれば、ある程度の推測は可能だが、知りたいのは若頭、舎弟頭級の大物である。今回の首脳会談で、まず王滬寧が浮上した。筆者が上海の華東師範大学に留学した時期に、同大学の仏文科に在学していた人物で国際政治の専門家である。もう一人の外交担当高官は、これまた華東師範大学OB(最終復旦大学卒)の国家副主席の李源潮政治局員だと推測するが、主席と副主席と一緒に外遊するわけにはいかず、今回李源潮の出番はなかった。王滬寧と共に会談に同席した栗戦書は、外交小組の構成員ではなく習近平の側近として参加したのであろう。いずれにしても、習近平、李源潮はともかく、王滬寧(おうこねい)、栗戦書(りつせんしょ)、楊潔篪(ようけっち)、新しい外交指導者は、読みにくい漢字の人物が多い。推定だが、外交小組には劉奇葆(りゅうきほ)、耿惠昌(こうけいしょう)、郭声琨(かくせいこん)と、これまた難解な氏名の連中が加わることになるのだろう、誰が外交指導者でも構わんが、日本人には読みにくくて、ほとんど書けない名前ばかりだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年6月10日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。